酪農経営継続に資する事業に関する取組確認表

本事業で着手する取組み（令和５年度中に取り組むもの、もしくは、既存の取組を令和６年度以降も継続するもの）について、３つ以上選択してください。

その他の具体的な取組みを選択する場合は内容を括弧内に記入してください。

**①飼料自給率の向上及び国産飼料の利用拡大**

* 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換える。
* 国産飼料・国産牧草（乾草・サイレージ）の給与割合を増やす。
* 国産とうもろこし（青刈り・子実・イアコーン）の給与割合を増やす。
* 国産濃厚・粗飼料の作付面積を拡げる。
* 国産原料（青刈りトウモロコシ・アルファルファ・国産チモシー）の使用量を増やす。
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**②疾病・事故率などの低減**

* 牛床マットやカウブラシ、分娩監視装置等飼養管理機器・資材の使用
* 疾病・事故率低減のための牛の削蹄の実施
* 疾病・事故率低減のための獣医師の指導等による定期的な分娩監視
* 疾病の低減のため、ワクチンの接種
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**③暑熱・寒冷対策による生産性の改善**

* 暑熱対策のために、牛床内における噴霧器、換気ファン等の使用
* 寒冷対策のために、牛衣（カーフジャケット）等を着用
* 暑熱・寒冷対策のために、外壁・屋根材に耐熱性（保温性）素材を使用
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**④副産物収入（堆肥販売、和牛受精卵の活用等）の増加による生産コストの削減**

* 堆肥販売の増加による収入の増加により、生産費割合を圧縮する。
* 和牛精液・和牛受精卵の活用による収入の増加により、生産費割合を圧縮する。
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
* **⑤牛群検定を活用した生産性の向上**

**⑥分娩間隔の短縮**

* 発情発見機を活用した発情の見逃し防止による分娩間隔の短縮
* 早期離乳の実施による、分娩間隔の短縮
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）